

(様式1)

環 境 配 慮 検 討 書

鈴 建 第 374 号
平成 29年 10月 12日

三重県環境調整システム推進会議 会長 様

鈴鹿建設事務所長

三重県環境調整システム推進要綱第4条の規定に基づき提出します。

対 象 事 業 の 名 称	千代崎港（海岸）原永地区海岸侵食対策事業
担当課所名	鈴鹿建設事務所 事業推進室 流域・公園課

1 事業の計画の名称、目的及び内容

(1)名称	千代崎港(海岸)原永地区海岸侵食対策事業	
(2)目的	千代崎港(海岸)原永地区では、海岸の侵食が激しく進んでおり、台風による異常波浪や高潮によって、越波する恐れがある。そこで、越波から堤防背後地を守るため、海岸侵食対策施設の詳細設計を行うものである。	
(3)事業主体	鈴鹿建設事務所	
(4)計画内容	①計画地の位置 ※位置図を添付すること	千代崎港原永地区
	②建物・施設等の概要 (用途、規模、面積、配置等) ※配置図を添付すること	計画延長 L=2.3km 侵食対策工 離岸堤L=230.0m (5基)
	③用水の使用計画	なし
	④エネルギーの使用計画	なし
	⑤雨水、汚水の排水計画	雨水：堤防背後地の雨水処理のための排水暗渠が3箇所存在する。 汚水：なし
	⑥道路・交通計画	なし
	⑦工期	ア)着工の予定時期 イ)完工及び供用開始の予定時期
(5)関連事業計画	なし	
(6)その他	なし	

2 計画地の社会的条件の現況等

(1)計画地の社会的条件の現況	①交通の現況	堤防道路は、年間を通じて生活道路として利用されており、夏季には、海水浴客にも利用されている。
	②土地利用の現況	伊勢の海県立自然公園、鈴鹿市東部銃猟禁止区域に指定されている。 堤防堤内は田畑や宅地が広がっている。
	③水域利用の現況	共同漁業権、区画漁業権が設定されている。 検討範囲内で海苔の種付けが行われている。
	④生活関連施設の現況	生活関連施設の立地状況 a.学校施設：愛宕小学校、愛宕幼稚園 b.医療施設：千代崎歯科医院 c.文化施設：春日神社 d.その他：千代崎海水浴場
(2)関係法令等による地域の指定・規制状況	①自然環境保全地域等の指定状況	自然環境保全地域（地区）、自然公園地域（区域）、鳥獣保護区の指定状況 a.自然環境保全地域：指定なし b.自然公園地域：伊勢の海県立自然公園 c.鳥獣保護区：指定なし
	②土地利用規制の現況	都市計画法、農業地域振興法、森林法等の規制状況 a.都市計画法：規制あり（市街化区域、市街化調整区域） b.農業地域振興法：規制なし c.森林法等：規制なし d.砂防法等：規制なし e.地すべり等防止法：規制なし f.急傾斜地災害防止法：規制なし g.河川法：規制なし h.海岸法：規制あり（海岸保全区域） i.文化財保護法：規制なし j.景観法：規制なし

3 計画地の自然的条件の現況

(1)地形・地質	文献調査	文献名	平成21年度 千代崎港国補海岸侵食対策工事（地質調査業務委託）		
	現地調査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無 <input type="checkbox"/> （実施日時 <input type="text"/> ）	聴取調査の有無	有 <input type="checkbox"/> ・ 無 <input checked="" type="checkbox"/> （実施日時平成21年8月）	
	調査結果等	<p>地形：鈴鹿市の地形は、低地・台地・丘陵に大別される。このうち調査地は、中勢海岸低地に属する。中勢海岸低地は、海岸線に沿って1km弱の幅で、ほぼ北北東～南南西に延び、海拔0～2m程度となる。</p> <p>地質：中勢海岸低地の地層層序は、鮮新世から前期更新世に堆積した奄芸層群を基盤層とし、その上部には下位から古伊勢湾層、伊勢神戸層・四日市港層・富田浜層が堆積する。</p>			
(2)水象	文献調査	文献名	なし		
	現地調査の有無	有 <input type="checkbox"/> ・ 無 <input checked="" type="checkbox"/> （実施日時 <input type="text"/> ）	聴取調査の有無	有 <input type="checkbox"/> ・ 無 <input checked="" type="checkbox"/>	
	調査結果等	二級河川の金沢川、掘切川に挟まれている。			
	②海域	伊勢湾沿岸に位置する。			
(3)気象・大気質等	調査の方法	津地方気象台資料（観測所：津観測所） 平成28年度版 三重県環境白書			
	調査結果	<p>計画地最寄り（津市）の観測データは次のとおり</p> <p>a.平均気温：15.9℃</p> <p>b.降水量：1581.4mm/年</p> <p>c.最多風向：北西</p> <p>d.風速：3.7m/s</p> <p>大気質：SO₂（二酸化硫黄） 0.001ppm（年平均） 鈴鹿市 鈴鹿算所保育所</p> <p>NO₂（二酸化窒素） 0.018ppm（年平均） 鈴鹿市（自）国道23号鈴鹿</p> <p>SPM（浮遊粒子状物質） 0.021mg/m³（年平均） 鈴鹿市（自）国道23号鈴鹿</p> <p>水質：類型B COD 2.9mg/L（四日市・鈴鹿地先海域（甲）St-4）</p>			
(4)生態系等	文献調査	文献名	三重県レッドデータブック2015		
	現地調査の有無	有 <input type="checkbox"/> ・ 無 <input checked="" type="checkbox"/> （実施日時 <input type="text"/> ）	聴取調査の有無	有 <input type="checkbox"/> ・ 無 <input checked="" type="checkbox"/>	
	調査結果等	<p>①植物</p> <p>植生の概要：計画地背後には、クロマツ林が広がり、北側の砂浜には砂丘性の植物が植生している。</p> <p>貴重な植物：計画地周辺では、三重県レッドデータブック2015において48種の植物が登録されており、以下2種が事業個所に生息する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハマボウ（絶滅危惧Ⅱ類（VU）） ・ハママツナ（準絶滅危惧（NT）） <p>②動物</p> <p>動物相の概要：計画地の砂浜では、鳥類や貝類等の干潟生物が見られる。</p> <p>貴重な動物：計画地周辺では、三重県レッドデータブック2015において46種の動物が登録されており、以下3種が事業個所に生息する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コアジサシ（絶滅危惧ⅠA類（CR）） ・コチドリ（準絶滅危惧（NT）） ・アカウミガメ（絶滅危惧Ⅱ類（VU）） 			

(5)自然景 観・文化 財等	文献調査	文献名	なし	
	現地調査の有無	有 ・ ④	(実施日時)	聴取調査の有無 有 ・ ④
	調査結果等 ①自然景観	<p>自然景観の概要：事業計画区域は県内有数かつ最北の海水浴場と、松林の多く残る緑地公園が整備されている。また堤防の背後には、全域に市街地が広がっている。</p> <p>貴重な自然景観：特になし</p>		
	②文化財、史跡、名勝等	<p>史跡・名勝・天然記念物：特になし</p> <p>埋蔵文化財包蔵地：特になし</p>		
③野外レクリエーション 他	千代崎海水浴場			
(8)その他、 自然災害等	<p>昭和28年の台風13号により甚大な被害を蒙るも、災害助成事業で復興。 また、昭和34年の伊勢湾台風により、堤防が被災している。</p>			

4 事業計画の検討内容（複数案比較）

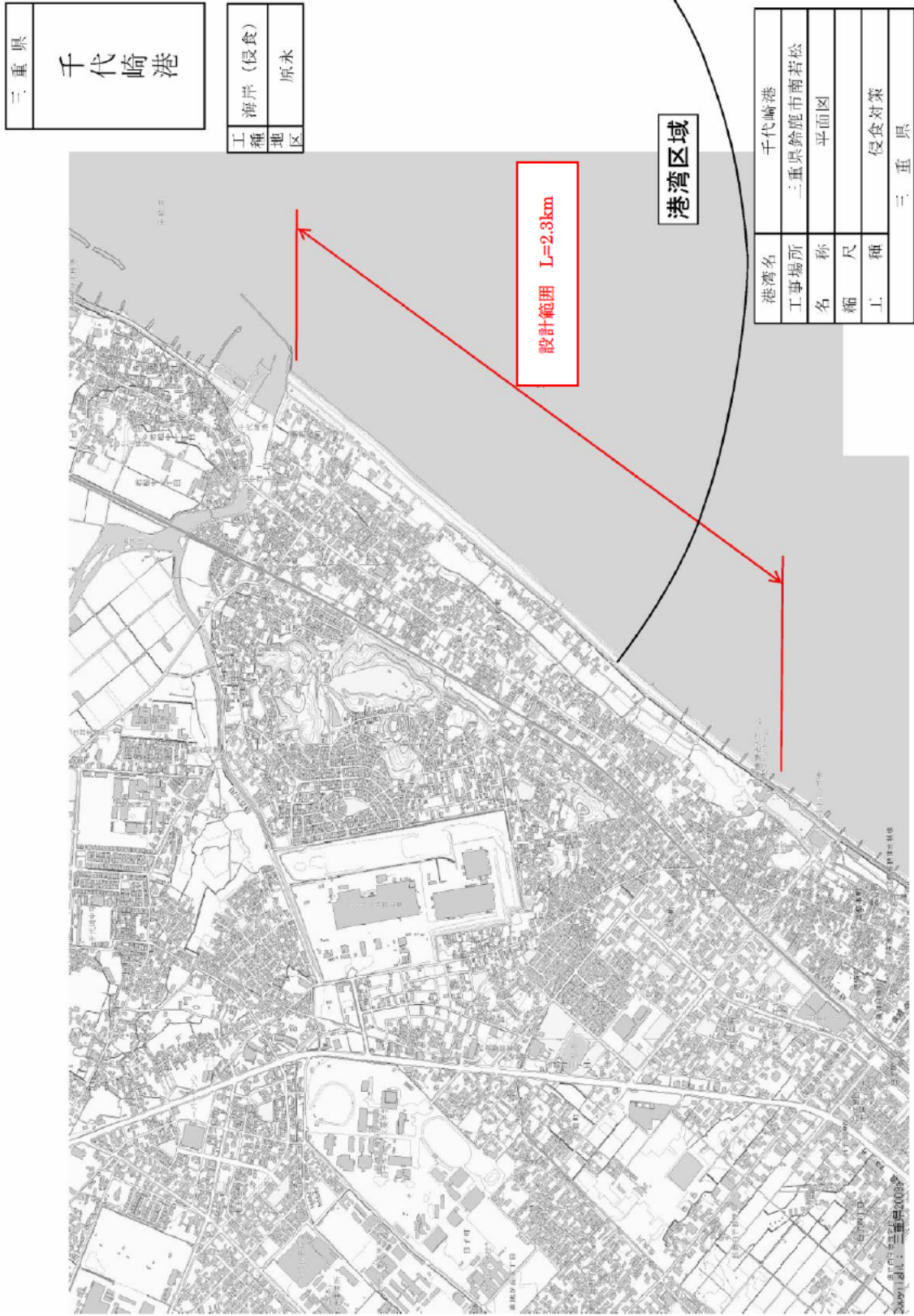
*用地選定が異なる計画、同じ用地での異なる計画等との比較を行う。比較検討用の位置図を添付すること。

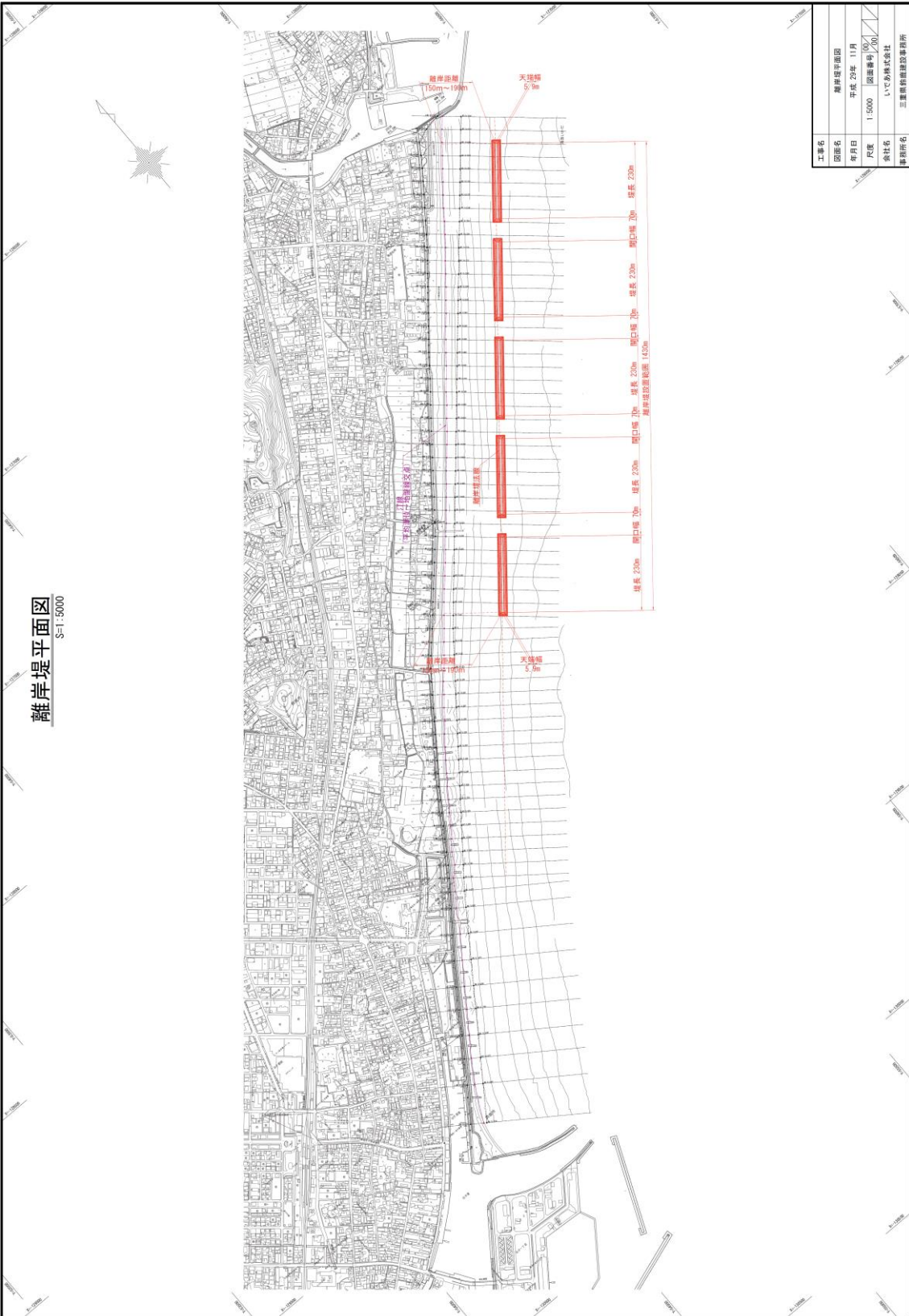
	事業計画案	比較検討（A案）	比較検討（B案）
(1)計画の概要	離岸堤案 V≒109,500m ³ 	突堤案 V≒12,600m ³ 	人工リーフ案V≒105,700m ³ 
(2)環境評価（*左欄に◎○△を相対評価で記入し、右欄に評価の理由を記入）			
①循環を基調とした持続的発展が可能な社会の構築			
②人と自然が共にある環境の保全			
③やすらぎと潤いのある快適な環境の創造			
①-1 地球温暖化防止	△ 構築材料（コンクリートブロック）の製作数が突堤案より多い。	○ 構築材料（コンクリートブロック）の製作数が比較案中最も少ない。	△ 離岸堤案と同様
①-2 廃棄物対策	○ 既設構造物の撤去を伴わないため、廃棄物は、ほぼ発生しない。	○ 同左。	○ 同左。
①-3 生活環境の保全	◎ 海上施工にすることで、背後地への影響を抑制する。	△ 仮設道路を海側に設けるが、工事用車両等の背後地への影響が出る。	◎ 海上施工にすることで、背後地への影響を抑制する。
①-4 その他重点項目	— 特になし。	— 特になし。	— 特になし。
②-1 野生生物等の生育空間の確保	◎ ウミガメの産卵に必要な最小浜幅(10m)を確保する。	△ ウミガメの産卵に必要な最小浜幅(10m)を確保できない箇所が広く発生する。	△ 同左。
②-2 希少な野生生物の保護	— 特になし。	— 特になし。	— 特になし。
②-3 地形、地質等の改変の抑止	○ 波浪による地形変化を制御し、堤防のり先地盤高を維持する。	○ 同左。	○ 同左。
②-4 その他重点項目	— 特になし。	— 特になし。	— 特になし。
③-1 緑化、周辺景観との調和	△ 海面上に消波ブロックが突出するため、海岸眺望の悪化が懸念される。	△ 海側に複数の構造物が突き出すため、海岸眺望の悪化が懸念される。	△ 水面下に没する施設であるが、喫水深を確保できない場合、標識を設置するため、海岸眺望の悪化が懸念される。
③-2 親水等、ふれあい空間づくり	◎ 現状よりも浜幅が広がる箇所があり、ふれあい空間の確保が可能となる。	△ 漂砂下手側への砂移動抑止効果のため、現状よりも浜幅が狭くなる箇所が発生する。	△ 500mにわたり、連続した範囲で浜幅が20mより狭くなる箇所が発生する。
③-3 その他重点項目	— 特になし。	— 特になし。	— 特になし。
④上記以外の特記事項	— 特になし。	— 特になし。	— 特になし。

5 事業計画案の環境配慮に係る評価

長 所	<ul style="list-style-type: none">・離岸堤は砂浜に来襲する波を減衰させ、砂の流出を抑制する効果が高い。・砂浜幅が広がることで、防護機能が向上するとともに、ふれあい空間の創出や海浜生物の生息範囲の拡大が期待できる。
短 所	<ul style="list-style-type: none">・特になし
会議で調整を要する事柄	<ul style="list-style-type: none">・特になし

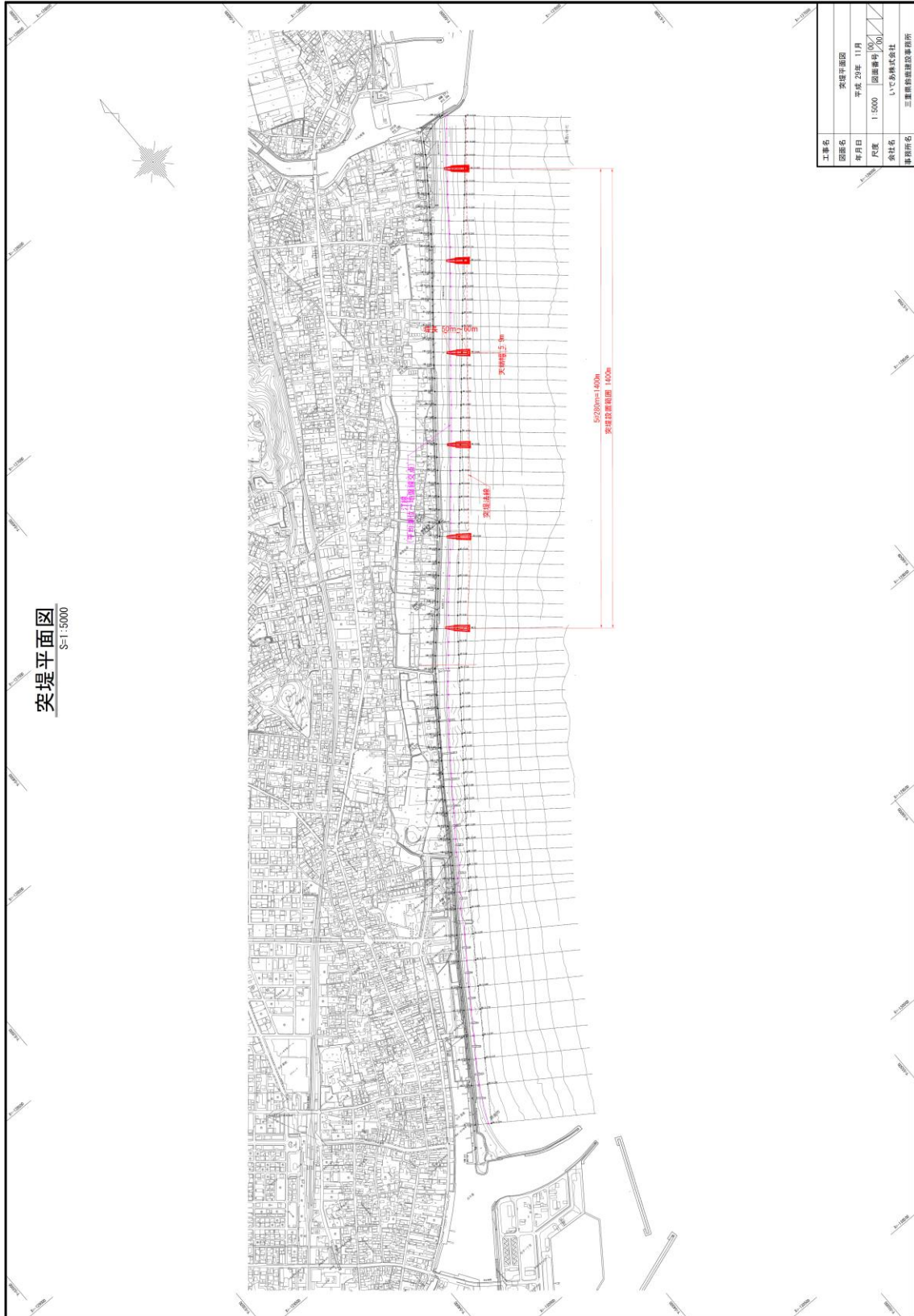
参考図-1





離岸堤平面図
S=1:5000

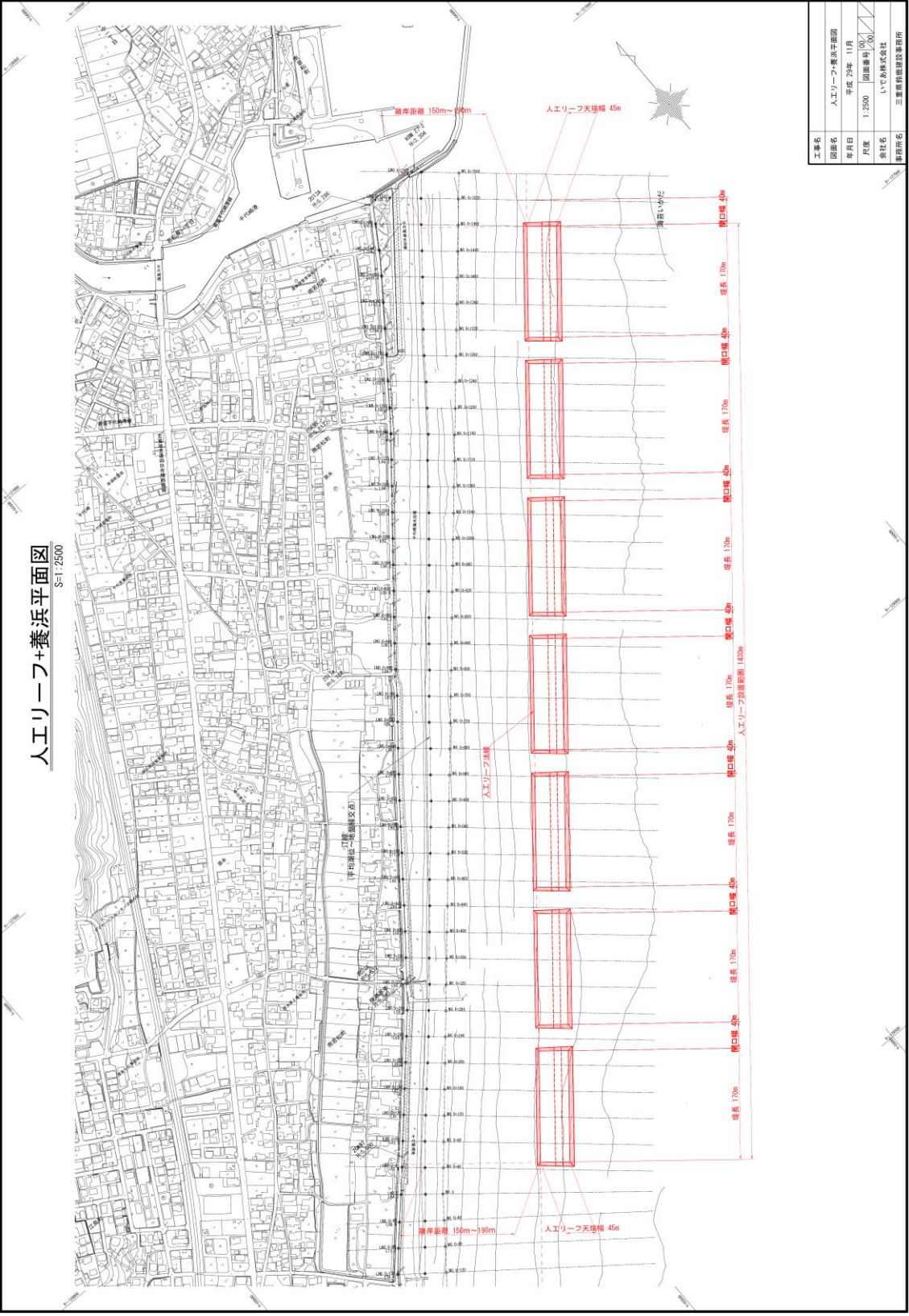
工事名	離岸堤平面図
図面名	離岸堤平面図
年月日	平成 29年 11月
式度	1:5000 図面番号/20
会社名	いであ株式会社
事務所名	三重県熊野建設事務所



突堤平面図

S-1:5000

工事名	突堤平面図
図面名	突堤平面図
年月日	平成 29年 11月
尺度	1:5000
図面番号	100
会社名	いでみ株式会社
事務所名	三重県鈴鹿市事務所



工事名	人工リーフ+養浜平面図
図面名	人工リーフ+養浜平面図
年月日	平成 29年 11月
尺度	1:2500 図面番号 2/20
会社名	いでぬ株式会社
担当所長	三重県防波堤事務所